

平成 2 2 年度 母子家庭等対策の実施状況

平成 2 3 年 1 2 月 1 6 日

**厚生労働省雇用均等・児童家庭局
家庭福祉課母子家庭等自立支援室**

目次

1. 母子家庭の生活の状況	1	トライアル雇用奨励金	32
2. 母子家庭等支援施策の体系	6	たばこ事業法の許可基準の特例	33
母子家庭の自立支援策の概要	7	母子福祉団体等への事業発注の推進	34
母子家庭及び寡婦自立促進計画	8	母子家庭の母の就業支援を図る優良企業等の表彰	35
母子家庭に対する主な就業支援について	9	行政機関等における雇用促進の取組	36
3. 就業支援に関する施策等（就業相談・就職支援）	10	6. 生活支援に関する施策	37
ハローワークによる母子家庭の母の職業紹介状況	11	母子家庭等日常生活支援事業	38
マザーズハローワーク事業の概要	12	子育て短期支援事業	39
母子家庭等就業・自立支援事業	13	ひとり親家庭生活支援事業	40
母子自立支援員の配置	19	母子世帯等の住居の状況	42
母子自立支援プログラム策定事業	20	住居の安定確保	43
4. 就業支援に関する施策等（職業訓練）	23	母子生活支援施設	44
職業訓練メニュー	24	7. 自立を促進するための経済的支援	45
公共職業訓練の実施	25	児童扶養手当	46
自立支援教育訓練給付金事業	26	母子寡婦福祉貸付金	50
高等技能訓練促進費等事業	28	8. 養育費の確保策	53
5. 就業支援に関する施策等（雇用・就業機会の増大）	30	9. 各自治体における取組状況	56
特定求職者雇用開発助成金	31		

1. 母子家庭の生活の状況

世帯構造別、世帯類型別にみた世帯数及び平均世帯人員の年次推移

年次	総数	世帯構造						世帯類型				平均世帯人員
		単独世帯	夫婦のみの世帯	夫婦と未婚の子のみの世帯	ひとり親と未婚の子のみの世帯	三世帯世帯	その他の世帯	高齢者世帯	母子世帯	父子世帯	その他の世帯	
		推 計 数 (単位:千世帯)						推 計 数 (単位:千世帯)				(人)
昭和61年	37,544	6,826	5,401	15,525	1,908	5,757	2,127	2,362	600	115	34,468	3.22
平成元年	39,417	7,866	6,322	15,478	1,985	5,599	2,166	3,057	554	100	35,707	3.10
4	41,210	8,974	7,071	15,247	1,998	5,390	2,529	3,688	480	86	36,957	2.99
7	40,770	9,213	7,488	14,398	2,112	5,082	2,478	4,390	483	84	35,812	2.91
10	44,496	10,627	8,781	14,951	2,364	5,125	2,648	5,614	502	78	38,302	2.81
13	45,664	11,017	9,403	14,872	2,618	4,844	2,909	6,654	587	80	38,343	2.75
16	46,323	10,817	10,161	15,125	2,774	4,512	2,934	7,874	627	90	37,732	2.72
17	47,043	11,580	10,295	14,609	2,968	4,575	3,016	8,349	691	79	37,924	2.68
18	47,531	12,043	10,198	14,826	3,002	4,326	3,137	8,462	788	89	38,192	2.65
19	48,023	11,983	10,636	15,015	3,006	4,045	3,337	9,009	717	100	38,197	2.63
20	47,957	11,928	10,730	14,732	3,202	4,229	3,136	9,252	701	94	37,910	2.63
21	48,013	11,955	10,688	14,890	3,230	4,015	3,234	9,623	752	93	37,545	2.62
22	48,638	12,386	10,994	14,922	3,180	3,835	3320	10,207	708	77	37,646	2.59

※ 国民生活基礎調査による。平成7年の数字は兵庫県除く。

母子世帯・父子世帯の世帯数の推移

(単位:世帯)

	平成2年調査	平成7年調査	平成12年調査	平成17年調査	平成22年調査
母子世帯	551,977	529,631	625,904	749,048	755,972
父子世帯	101,705	88,081	87,373	92,285	88,689

※ 国勢調査(各年10月1日現在)による。

※ 「母子(父子)世帯数」の数字は、「未婚、死別又は離別の女(男)親と、その未婚の20歳未満の子どものみからなる世帯(他の世帯員がいないもの)」世帯数

所得の種類別一世帯当たり平均所得金額

(単位:万円)

	総所得	稼働所得	公的年金・ 恩給	財産所得	年金以外の 社会保障 給付金	仕送り・ 企業年金・ 個人年金・ その他の所得	世帯人員1 人当たり平均 所得金額
母子世帯	262.6	197.5	9.2	3.4	40.0	12.4	97.1
児童のいる世帯	697.3	626.0	32.3	14.1	11.2	13.7	166.9
全世帯	549.6	408.1	102.3	17.3	5.5	16.4	207.3
高齢者世帯	307.9	53.2	216.2	18.2	2.5	17.7	197.9

資料:厚生労働省大臣官房統計情報部「平成22年国民生活基礎調査」

(注)所得は、平成21年1年間の所得である。

平成17年における年間就労収入の分布について

(単位:%)

	100万円未満	100~200 万円未満	200~300 万円未満	300~400 万円未満	400万円以上	平均年間 就労収入
母子世帯	31.2 (35.1)	39.1 (36.1)	17.7 (17.0)	5.9 (6.3)	6.1 (5.5)	171万円 (162万円)
父子世帯	4.3 (6.2)	11.8 (10.9)	21.1 (22.5)	17.4 (18.6)	45.3 (41.9)	398万円 (391万円)

※全国母子世帯等調査による。

※()内の数値は、平成14年における年間就労収入の分布

母子家庭・父子家庭の状況

	母子家庭	父子家庭
1 世帯数(※)	76万世帯	8.9万世帯
2 就業状況	84.5%	97.5%
うち常用雇用	42.5%	72.2%
うち臨時・パート	43.6%	3.6%
3 平均年間収入	213万円	421万円

【出典】「世帯数」は、平成22年国勢調査、その他は平成18年度母子世帯等調査による。

※世帯数は、母子又は父子のみにより構成された世帯の数。

母子家庭の現状

- 母子のみにより構成される母子世帯数は約76万世帯（平成22年国勢調査）
- 母子以外の同居者がいる世帯を含めた全体の母子世帯数は約120万世帯（平成18年度全国母子世帯等調査からの推計）
- 児童扶養手当受給者数は約98.6万人（平成22年3月末現在、福祉行政報告例）
- 母子世帯になった理由は、離婚が約8割、死別は約1割。
※昭和58年では離婚約5割、死別約4割。
- 低年齢での離婚が増えていることから、約3割が20歳代で母子世帯に。
- 離婚件数は約25万1千件(平成22年)。従来、増加傾向にあったが、平成15年から概ね減少傾向。
- 離婚率（人口千対）は2.01。アメリカ（3.4）、イギリス（2.37）、フランス（2.12）より低く、イタリア（0.85）、オランダ（1.96）よりは高い水準。

